

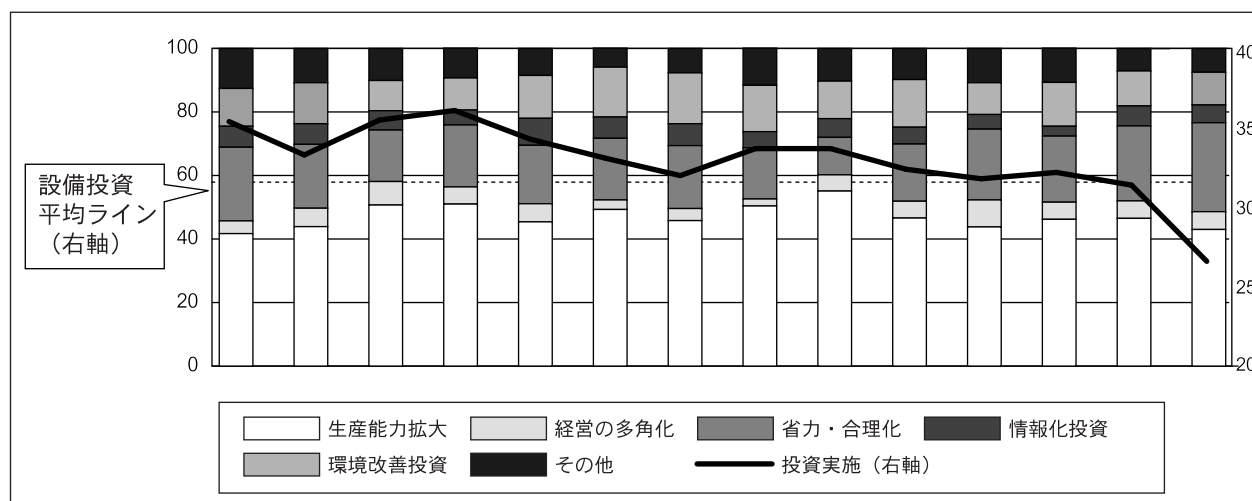
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

種別	（%）													見込	予測	
	16年		17年				18年				19年					
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
投資実施	35.4	33.3	35.5	36.1	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	26.6		
投資せず	64.6	66.7	64.5	63.9	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	73.4		

設備投資の目的（実施先について）

	（%）													
生産能力拡大	41.7	43.9	50.7	51.0	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	46.5	43.0
経営の多角化	4.0	5.8	7.4	5.4	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	5.5	5.6
省力・合理化	23.2	20.1	16.2	19.5	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	23.6	28.0
情報化投資	6.6	6.5	6.1	4.7	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	6.3	5.6
環境改善投資	11.9	12.9	9.5	10.1	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	11.0	10.3
その他	12.6	10.8	10.1	9.4	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	7.1	7.5



(1) 19年4～6月に設備投資を実施した企業は全産業の32.2%であり、16期連続で30%を上回った。19年4～6月期実績を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は39.8%、非製造業は25.4%となっている。

19年4～6月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が前期比2.4ポイント増の46.2%となりトップ、次に省力・合理化が20.8%であった。

(2) 19年7～9月期に設備投資を予定している企業は全体の31.4%で、引続き30%以上の企業が設備投資を予定している。設備投資の目的は今期と同じ、生産能力の拡大がトップとなっている。

(3) 19年4～6月期において設備投資実施企業の割合が50%を超えたのは、医薬品製造・電子部品製造・金属製品製造であった。また、7～9月期見込でも、電子部品製造が50%以上の回答をしている。